

長寿90歳 おめでとう

※承諾された方のみ氏名を掲載しています。

町内在住で90歳を迎える方を祝う「別海町長寿賞」が田村昭雄さん（昭和5年8月5日・別海）、阿部トシさん（昭和5年8月30日・別海）に贈られました。

※新型コロナウイルス感染予防のため、当分の間、写真撮影は取り止めることとしました。

新型コロナウイルス 感染症対策への 寄付を頂きました

「別海町の新型コロナ対策を支援する町民有志の会（寺井範男 発起人代表）」の呼びかけにより、町内の金融機関等を通じて寄付金の受け入れを行った結果、4団体・20事業者・41名の町民の皆さまから、総額452万7千円の寄付を頂きました。寄付金は、町が実施する各種の新型コロナウイルス感染症対策に有効活用させていただきます。

チャレンジスクール 第4回、第5回学習会

8/22・9/6

東公民館では青少年の体験や交流活動を通じて、生きる力と社会性を養うことを目的に少年事業「チャレンジスクール」を実施しています。

第4回、第5回学習会として「クテクンの滝 沢登り体験」と「藻琴山 登山体験」を実施しました。

沢登り体験では、慣れない沢の中で足場を考えながら進んでいき、目的地のクテクンの滝にたどり着くことができました。

藻琴山登山体験では、巨大な屏風岩を登ったり、雲の中を歩く体験ができました。

どちらの体験も初めてという子が多く「次はどんな体験ができるのか」と楽しみにしていました。



別海中央中学校野球部 全道大会優勝

9/11

「第12回全日本少年春季軟式野球北海道予選会・第17回北海道中学校軟式野球選抜選手権大会」（9月19日から21日 新十津川町ほか2市）に臨む別海中央中学校野球部の代表生徒2名が町長と教育長を表敬訪問しました。

チームを代表して主将から大会に対する抱負が述べられ、町長と教育長からは激励の言葉が贈られました。

結果は、並みいる強豪を打ち倒し、見事優勝。来年3月に静岡県で行われる全国大会に出場されます。選手の皆さん、おめでとうございます。



別海中央ジュニアイーグルス 全道大会出場

9/11

「2020ファイターズベースボールチャンピオンシップU-12」（9月20日から10月10日札幌市）に臨む別海中央野球スポーツ少年団（別海中央ジュニアイーグルス）の選手達14名が、町長と教育長を表敬訪問しました。

チームを代表して主将から「最後まで楽しんでプレーしたい」と大会に対する抱負が述べられ、町長と教育長からは「札幌ドームで試合をできるチャンスは、なかなかないので、体調を万全にして、自分達らしいプレーをしてきてほしい」とチームの健闘を祈る激励の言葉が贈られました。



花のある街づくり

環境整備や緑化運動を進めるため「花のある街づくり事業」の一環として、別海市街地10町内会の協力の下、各道路にプランターを設置しています。

本年は、ベコニアが植えられ、町民の目を楽しませています。プランターは10月末まで設置しています。



別海寿町



別海川上町

第41回 いい歯の子表彰

町内に住む3歳児でむし歯のないお子さんを表彰する「いい歯の子表彰」は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、表彰式を中止し、記念品の贈呈のみ行いました。

今回は令和元年9月から令和2年7月までに3歳児健診を受けた子の中から68名のお子さんが表彰されました。

【いい歯の子たち】（敬称略）

相川 和花	青木 睦斗	青山 舞	阿部 柳輝	天田 心羽	新居 花	石川 晴大	泉 絢翔
磯田 珠依	伊東 杏奈	上杉波琉斗	浦山 昂琉	大野 桜都	大野 真優	岡部 翔太	小川 航平
小野 日和	尾上遥之丞	金澤 愛莉	兼平 菜子	川村菜乃佳	上林 旭	木原 爽	久野 渚紗
小島 健	小西 悠翔	小林 札奈	小林なごみ	小檜山咲月	酒井 瑛仙	坂本怜衣菜	佐久間光太郎
佐藤未咲紀	佐藤 陽太	佐藤 遥琉	島崎 寛太	菅野 芙羽	須崎 希奏	関口 栞	高木 梨希
高野千映琉	高橋 阿礼	高橋 理公	田中 結梨	田村 佳穂	千葉 滉太	継枝 沙羅	津田 葵
天神 斗真	富永 悠矢	友貞 道元	内藤 湊	中澤いちか	中島 葵唯	福永 泰誠	古川 和樹
古里 悠貴	松浦 楓磨	松浦 和花	松本 和佳	南 唯純	元木 優宏	山岸 明莉	山田 心蘭
山村 芽吹	山本 環	山本 圭吾	吉田 橘平				

※氏名の公表を承諾された方のみ掲載しています。

「ふるさと交流館（旧別海町交流センター“郊楽苑”）」 の在り方について

7月にアンケートを実施、8月に意見を聴く会を開催し、皆さまから貴重なご意見をいただきました「ふるさと交流館（旧別海町交流センター“郊楽苑”）」の在り方について、総合的に検討し、次のとおりとしたのでお知らせします。
ご協力ありがとうございました。

■ふるさと交流館について

令和3年度以降、当面は町の直営により運営を継続します。

■施設の規模・形態について

- 入浴については、今後の継続的な運営に必要な機械設備等の改修をするため4月から休館し、できる限り早急に再開できるよう、準備を進めていきます。
- 宿泊は当分の間、休止することとしますが、施設の保全計画見直しと併せて、今後の在り方を検討していきます。
- 食事などのサービス提供については、できるだけ経費のかからない方法で、民間の活用による運営方法なども含めて検討していきます。

問合せ／商工観光課 観光・交流担当（内線1622）

